

今後のビジネス展開に欠かせない、**最先端事例や、他自治体の成功事例**を学ぶ。

技術革新・商品開発・販売促進などのビジネスチャンスのヒントを掴む！

地方創生ソリューションセミナー

第5回 2019.8.20 (THE) at. まるまるひがしにほん(東日本連携センター) 2階

Solution seminar of regional origination

「災害に備えたインフラ整備

～持ち運び型ソーラー蓄電池の活用事例について～」

セミナー概要 ※セミナーの内容は変更になる場合がございます。

開催日 2019年8月20日(火)

時間 13:30～14:30(60分)

場所 まるまるひがしにほん 2階
(東日本連携センター)

定員 50名 参加費 無料

講師



国重ライティング株式会社

取締役 **安在 崇氏**

セミナー
内容

「災害に備えたインフラ整備

～持ち運び型ソーラー蓄電池の活用事例について～」

昨今の異常気象による自然災害などでの停電によりリスク管理が叫ばれています。東日本大震災による道路の寸断や北海道胆振東部地震によるブラックアウトにより混乱が起きたことは記憶に新しいこと。起こりうるリスクの備えてきていますか？今回は、現代生活にとって欠かすことのできない一番の要である「電気」に対するリスクマネジメント。

電気はおろか道路も寸断された壊滅した街で、いかに早く電気を使えるかにかに大容量の電気を運ぶ事ができるのか。そうした考えから製品開発されたポータブル蓄電池「tameru Lab」を知っていただく機会を設けました。その機動性で多くの自治体や企業様が採用しています。今回は停電時にどのような弊害が予想されるか、またその時蓄電池がどのような役割を果たすのか。実機デモを交えながらご案内いたします。

大容量ポータブル蓄電池

Tameru Lab.



自治体、病院や老人ホームでも
導入を決定！

- ・大容量の5.6kW蓄電
- ・持ち運びが可能
- ・純正弦波で精密機器にも利用可



お申込み方法

お電話で 048-856-9111 パソコンから <https://marumaru-higashinihon.jp/biz-event> スマホから



東日本連携センターとは



この度、3月28日にオープンした新施設。さいたま市とさいたま商工会議所が運営を行う、東日本各都市の「ヒト・モノ・情報」が集積し発信する交流拠点施設です。ここでは各自治体のシティープロモーションやビジネスマッチング、交流をテーマとして新たなビジネスの創出の場として機能します。今回セミナーを開催する2階では、今後も月に1回以上のセミナーを開催し、ビジネス交流サロンとしてネットワークを広げられる機会を創出していきます。

まるまるひがしにほん(東日本連携センター)
埼玉県さいたま市大宮区大門町1-6-1 1F/2F

